

第41回 容量市場の在り方等に関する検討会 議事録

1. 開催状況

日時：2022年10月27日（木） 10:00～10:30

場所：Web会議

出席者：

秋池 玲子 座長（ポストンコンサルティンググループ マネージング・ディレクター & シニア・パートナー）
秋元 圭吾 副座長（公益財団法人地球環境産業技術研究機構 システム研究グループリーダー・主席研究員）
小宮山 涼一 委員（東京大学大学院工学系研究科 教授）
松平 定之 委員（西村あさひ法律事務所 パートナー）
松村 敏弘 委員（東京大学 社会科学研究所 教授）
圓尾 雅則 委員（S M B C日興証券株式会社 マネージング・ディレクター）
伊藤 英臣 オブザーバー（東京ガス株式会社 電力事業部 担当部長）
梅本 昌弘（伊藤忠エネクス株式会社 電力・ユーティリティ部門 電力需給部長）
紀ノ岡 幸次 オブザーバー（関西電力株式会社 エネルギー・環境企画室 企画担当部長）
小鶴 慎吾 オブザーバー（株式会社エネット 経営企画部長）
佐々木 邦昭 オブザーバー（イーレックス株式会社 経営企画部 副部長）
高垣 恵孝 オブザーバー（送配電網協議会 ネットワーク企画部長）
森 正樹 オブザーバー（電源開発株式会社 経営企画部 ESG・経営調査室長）
田山 幸彦 オブザーバー代理（東京電力パワーグリッド株式会社 執行役員 系統運用部長）

欠席者：

安念 潤司 委員（中央大学法科大学院 教授）
林 泰弘 委員（早稲田大学大学院先進理工学研究科 教授）

議題：

（1）2023年度追加オークションに向けた対応について（対象実需給年度：2024年度）

資料：

【資料1】議事次第

【資料2】委員名簿

【資料3】2023年度追加オークションに向けた対応について（対象実需給年度：2024年度）

【参考資料】実需給2年度前の業務の状況報告について（容量停止計画の調整）

2. 議事

（1）2023年度追加オークションに向けた対応について（対象実需給年度：2024年度）

- 事務局より、資料3に沿って、2023年度追加オークションに向けた対応について（対象実需給年度：2024年度）について説明が行われた。

[主な議論]

(田山オブザーバー)

事務局の説明に感謝する。2点ほど発言させていただく。1点目はスライド7において、非効率石炭火力の誘導措置によるインセンティブ設計の扱いをまとめた説明の中で、カーボンニュートラルに向けた対応という意義は十分理解しているが、今回の追加オークション段階では足元で需給ひっ迫が懸念されている中での実施ということで、幾つかの留意が必要と考える。石炭火力はkW面のみならず、現状では不安定なLNGの調達環境の変化に伴うkWh面の不足の緩和を期待できる電源であり、今後先行きが不透明な中でのひっ迫対応として貴重な電源であることを考えると、現状下では非効率石炭火力の誘導措置というのは一旦立ち止まって検討し、状況によっては敢えて導入しないという判断をすることもあり得ると考える。2点目はスライド10において追加オークションの開催判断について整理されているが、追加オークションはメインオークションの時点から需要曲線や再エネ等の状況変化を反映する目的で行なわれていると認識している。2項目の追加オークション開催判断における供給信頼度評価について、全国およびエリアごとの供給信頼度を踏まえて判断するという方向性は合理的と考える。一方、4項目のブロック構成については、メインオークション後の状況変化もあるため、今回の需給状況を踏まえ改めて実施する供給信頼度評価の結果、メインオークションとは状況が異なるとも考えられる。今後、4項目に示す需要変動、市場退出等の影響を踏まえてブロック構成を確認した上での開催判断となるよう一般送配電事業者としても一緒に検討させていただきたく、宜しく願います。

(松村委員)

今回の件は基本的にメインオークションが終わった後でなされた改革はそのまま適用するが、事情が違う部分についてはその分を補正する形で出されたと認識している。今後もメインオークション後に改革がされたとすれば、そちらの方がいいと思って改革したわけであり、それを採用するのは合理的な発想と思う。一方でメインオークション時に比べ追加オークションの方が有利になると、メインオークションで出さないインセンティブを増やす副次的な効果もあり得ると考える。モニタリングで監視対応する整理もあり得るが、監視は完全にはできないと考えると、むやみに追加オークションの方が有利になるという話はいれない方がいいと思う。改革されたものを年度に合わせて修正し適応するという今回のやり方が原則とは思いますが、先ほど申した効果についても頭に入れながら本当に適応するのかを一つひとつ慎重に検討していくことが今後も必要と考える。今回の事務局説明では、改革されたものは当然適応するという発想ではなく、一つひとつを丁寧に見たということが伝わってくるため、今回の検討について問題はないと考える。ただ、今後も全て同じやり方で行なうのではなく、今回と同様に一つひとつ丁寧に見ていくことを先例として認識しなければならない。次に、田山オブザーバーの議論はよく理解できなかったため、もう少しはっきりさせていただきたい。これは追加オークションの話であって、これからメインオークションを行ない4年後には需給がひっ迫することが明らかになっているのに本当にこれをやるのかという話ではない。つまり、メインオークションで出てこなかったか、或いは落選した非常に限定的な電源の話である。その限定的な電源の中で田山オブザーバーが懸念したような電源が一体どれだけあるのかと疑問に思う。減額の対象は非効率的かつ設備利用率が高いものに限られる。需給のひっ迫が懸念されているのは春・秋ではなく、夏・冬となることから、非効率的な石炭火力の設備利用率が50%を下回るのは自然な姿である。つまり、仮に落選した電源であるとすれば元々かなり非効率的な電源であり、そのような電源が春・秋も動いているとの想定は不自然な気がする。ここで問題となるものは一体どれくらいあるのか、具体的にどういうものを念頭において懸念しているのかを、詳しく説明していただきたい。

(小宮山委員)

事務局の説明に感謝する。先程、田山オブザーバーから発言のあったスライド10のブロック構成に関しては、今回の追加オークションのひとつの大きな意義と認識している。供給信頼度を再度しっかり判断した上で、特に新たな需給、需要の変動、市場退出を踏まえて不足エリアが出てきている場合は充足エリアとのバランスを取りながら追加処理を行ない、充足

ブロックでは減少処理を行なって、全体の信頼度が確保されるよう追加オークションを行なうという点、非常に大事と認識している。また、追加オークション、メインオークションともに、広域機関で事後評価を丁寧に行なっているが、今回の追加オークションの約定処理、結果を通じてどういった市場の状況が変化したのかを事後的に検証することが非常に大事と認識している。

(秋池座長)

他に委員、オブザーバーからご意見等ないか。では宜しければ、田山オブザーバーのご発言について幾つかご意見を賜っているので、田山オブザーバーから追加で補足等あればお願いしたい。

(田山オブザーバー)

先程の松村委員からのご指摘についてだが、私の発言の趣旨としては、ご指摘の通り、あくまでも追加オークションの対象について発言したものであるが、今は足元自体が不透明なところがあり、2023年度、2024年度と経て向かっていくに当たって、現時点では追加オークションに限ったものではあるものの、どの程度の量があるのか定かではなく、今後の需給のひっ迫度合いというのも考慮する事項ではないかと思った次第である。僅かな量であっても利用率を超えペナルティを払って運転してもらわねばならない状況になってしまうことを懸念し、考慮事項として検討していただきたいという趣旨で発言した。

(事務局)

皆様のご意見に感謝する。先程、田山オブザーバーからご意見いただいた非効率石炭火力の誘導措置について、ご指摘の点は理解する。ただ、足元のひっ迫という状況は2022年度、2023年度にはあろうかと思うが、今回は2024年度の供給力が確保される前提での話であるため、必要性が出てくれば検討するという事で考えたい。また、小宮山委員からご意見いただいたブロック構成、供給信頼度の評価については、ご指摘の通り、需要の市場退出状況等の変化を踏まえて新たに信頼度評価計算をし、ブロックを確認の上、開催判断を行なっていきたいと考えている。更に、松村委員からご指摘いただいたメイン以降の見直しについて反映をどうするか点については、今回一つひとつ検討し、見直し後の考え方を適用するといったものであるが、ご指摘の通り、先程説明の副次的効果というのもあることを踏まえた適用要否に加え、1年前でシステムが対応できるかの観点も踏まえ一つひとつ考えていかなければならないと思っている。従って、今後もメインオークション後に見直しされた項目については、必ず見直し後のものを適用すると決まっているわけではなく、是々非々で一つひとつ検討していきたいと考えている。

(秋池座長)

全体を通して他に何かないか。宜しければ、ここで締めたいと思う。追加オークションに向けた対応についてご意見をいただき感謝する。2023年度の追加オークションについては、この後、募集要綱や業務マニュアル、需要曲線の準備を行ない、更に事業者へ向けた説明会資料も準備していくこととなる。事務局においては、本日のご意見を基にオークションへ向けた準備を宜しく願います。

以上で本日の議事は全て終了とする。

以上